

シリーズ 景観55

松江市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

『みんなで残したい松江の景観400選集』から
景観審議会が特にオススメする景観

アジサイの月照寺

No.246

「松江藩主松平家の菩提寺^{ぼだいじ}は、6月にアジサイの花が咲き誇り、「山陰のあじさい寺」として有名です。歴代の藩主の廟^{むらう}(※1)に咲くアジサイは、廟の静寂と相まって心地よい情景を演出してくれま

の史跡に指定されました。また、高信院^{こうしんいん}(初代直政)廟門、大圓庵^{だいえん}(七代治郷)廟門は、1978(昭和53)年に島根県の有形文化財として指定されています。そのほかにも、「夜な夜な松江を徘徊^{はいかい}する」と小泉八雲の随筆に登場する

六代宗衍^{むねのぶ}の寿蔵碑(※2)の大亀、松江藩お抱え力士の雷電為右衛門の碑など、藩主菩提寺として由緒ある遺品・遺構が数多く残っており、松江の歴史の一端に思いを巡らすことができます。

松江は雨の似合う水の都で、雨に濡れた約3万本のアジサイは幻想的な美しさを醸しだし、歴史ある廟や苔むした石畳などと合わさり、雨の日は特に趣深くなります。月照寺には初代直政から九代斎貴^{なかつたか}までの墓があり、1996(平成8)年に「松江藩主松平家墓所」として国

※1：祖先、先人の霊を祭る建物
※2：生前に建てた碑



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索